

## 令和4年度 第1回地域医療対策協議会 協議結果

日時：令和4年11月30日（水） 18：00～20：20

場所：石川県庁行政庁舎14階 1405会議室

### <石川県地域医療対策協議会運営要綱の改正>

- 石川県地域医療対策協議会運営要綱の改正案について、事務局より協議資料1に沿って説明があった。
- 事務局案（協議事項の追加、部会の設置）のとおり承認され、今後、不足する医療従事者（職種、地域等）については、地域医療対策協議会の合意を得て、施策を行うことされた。

### <医療従事者（医師）の確保>

- 医療従事者（医師）の確保について、事務局より協議資料2-1に沿って説明があった。
- 各構成員より、次のような意見が述べられた。
  - ・ある能登出身の県外者からは、都会ではコロナの関係で病院にすぐ行けないので里帰り出産をしたいという強い要望があると聞いた。県は、安心して子供を出産できるよう赤ちゃん協議会を設置したとのことであり、この取組をしっかりと進めてほしい。
  - ・医師確保の目標として、臨床研修医を確保することも重要であるが、戦力となる専攻医を確保することも大きな目標であるべきと考える。
  - ・高校生や中学生に、医療の魅力を伝えることで、医師のみならず、歯科医師や薬剤師、看護師にも効果があるので、教育委員会ともコラボレーションしながら、取り組んでほしい。
- 上記の意見を参考に、医師確保に関する施策を進めていくこととされた。

### <医療従事者（歯科医師）の確保>

- 医療従事者（歯科医師）の確保について、事務局より協議資料2-2に沿って説明があった。
- 各構成員より、次のような意見が述べられた。
  - ・能登北部と南加賀に関して、歯科医師が今後、高齢化や後継者不足により大幅に減少していくことが懸念され、特に能登北部では、歯科医師が不在となることが危惧される。
  - ・歯科衛生士、歯科技工士の確保も重要な課題である。
  - ・歯科医師は、周術期における口腔ケアなど医療の面でも重要な役割を担っているが、病院ではマンパワーが不足している。現状では、人材を確保しようとしても採算がとれないので財政支援があれば良い。
- 上記の意見を参考に、歯科医師会とも連携し、歯科医師確保に関する施策を進めていくこととされた。

### <医療従事者（薬剤師）の確保>

- 医療従事者（薬剤師）の確保について、事務局より協議資料2-3に沿って説明があった。
- 各構成員より、次のような意見が述べられた。

- ・能登では、高齢化が進んで、あと数年でいなくなってしまうという現実的な問題がある。県地域連携薬剤師キャリア形成プログラムを策定し、基幹病院と地域病院のローテーションを行い、地域の薬剤師確保と定着、能力開発を解決できればよい。
- ・薬剤師の場合は、偏在問題が現実化し、業務が成り立っていない病院がある。病院の薬剤師が借りている奨学金を免除する制度があればいい。
- ・地域連携薬剤師枠を金沢大学病院や県立中央病院等の薬剤部に設置し、基幹病院と地域が連携して体制を構築し、また、地域入学枠を金沢大学薬学部や北陸大学に設定し、学生の地域定着を促す方策が考えられる。

○上記の意見を参考に、薬剤師確保に関する施策を進めていくこととされた。

### <医療従事者（看護職員）の確保>

○医療従事者（看護職員）の確保について、事務局より協議資料2-4に沿って説明があった。

○各構成員より、次のような意見が述べられた。

- ・ある程度キャリアを積んで、都心に流出する人はあまりいないが、医療技術が変わる中で、いろんなキャリアプランのデザインが必要ではないかと考える。
- ・石川県の離職率は、急速に高まっている。
- ・看護職は、養成課程が様々であり、一般看護師という時期が非常に長く、また、キャリアを身につけても区別が明確化されていない。医療の枠組みが変わっていく中で、混然とした業務がさらに増えていくというような状況があり、手を打つ必要がある。
- ・助産師出向事業のような、県内で辞めずにキャリアを積んでいける研修体制なども必要。
- ・女性が働ける環境ということでは、働き方改革の中で、夫婦どちらも一緒に育児や家事、仕事をやっていけることが、重要である。
- ・医療の高度化等に伴い看護師の業務量が増加している中、今までと同じ仕事のやり方では、十分な対応が困難となる。業務削減など、思い切った改革をする必要がある。いかに仕事を減らすかということに重点を置いていかないと、看護師の負担がどんどん大きくなり、離職に繋がる。

○上記の意見を参考に、看護職員確保に関する施策を進めていくこととされた。

### <金沢大学医学類特別枠の運用>

○金沢大学医学類特別枠の運用について、事務局より協議資料3に沿って説明があった。

○各構成員より、次のような意見が述べられた。

- ・能登北部へ行く医師は、このまま行けばだんだん増えてくると思うが、診療科による偏在や、医師が少ないと聞いている南加賀などへの派遣も考えたほうがよい。
- ・特別枠医師の能登北部派遣は、能登北部医師確保に寄与している、内科の中でも、消化器内科とか、またさらに細かく分かれており、考慮が必要であるが、能登北部2市2町の病院の現状を考慮し、引き続き派遣してほしい。
- ・特別枠は、内科以外の診療科で、能登に専門研修ができる指導医がいない病院に派遣する場合問題になる。次年度以降、地域枠を総合教育センターに一括管理し、他の研修医専攻医と同じ形で、県の要望も応えながら、医師を派遣できたらよい。
- ・厚生労働省の地域医療対策協議会運営指針では、派遣先は、公立公的医療機関に偏るこ

とがないように、地域における各医療機関の医療機能に着目して派遣することとされており、受入れ先として民間病院もあってもいいと考える。

- ・石川県は、医師総数は足りているから、今後は偏在対策を強化していく方向かと考えるが、縦に長いので、患者さんのスムーズな移動に課題がある。
- ・結果的にその南加賀と能登中部が少なくなっており、医局任せにせずに、ある程度南加賀と能登中部に派遣できるようなバランスを取っていく必要がある。南加賀や能登中部勤務も最低限1年或いは2年入れるルールを決めるとよいと考える。

○上記の意見を参考に、県と関係者で情報共有しながら、能登北部以外の地域についてもバランスを取りながら、特別枠派遣を進めることを確認した。

### <石川県キャリア形成卒前支援プラン>

○石川県キャリア形成卒前プラン（案）について、事務局より協議資料4に沿って説明があった。

○事務局案のとおり承認され、石川県キャリア形成卒前プランを運用していくこととされた。

### <石川県自治医科大学卒業医師キャリア形成プログラム>

○石川県自治医科大学卒業医師キャリア形成プログラム（案）について、事務局より協議資料5に沿って説明があった。

○各構成員より、次のような意見が述べられた。

- ・地域枠の医師も勤務し、自治医科大学医師の勤務先や気質も変化している。自治大学の精神、学生時代からの指導を今一度教育をお願いしたい。

○事務局案のとおり承認され、石川県自治医科大学卒業医師キャリア形成プログラムを運用していくこととされた。

### <報告事項：金沢大学医学類特別枠に関する不同意離脱>

○臨床研修医確保対策について、事務局より、報告資料2に沿って、国から不同意離脱の取扱いの運用方針が示された段階で、県の不同意離脱に関する要件を定めていく旨の説明があった。

○各構成員より、次のような意見が述べられた。

- ・研修医を採用した研修指定病院も、補助金削減の罰則を与える制度であることも周知してほしい。

### <報告事項：臨床研修医確保対策>

○臨床研修医確保対策について、事務局より、報告資料2に沿って説明があった。